

はくさいの追肥に千代田エース

すべ原かたママはレ上植「培避近すス入「チ川 ツさらめルルくタか付レがの年。専れ基掛上 、ん地、チチさスらけタ増た、□ 用ま肥け村 ダも面雨にのい・追前スえめ川 銘すにがで イレにやは上のは肥にのてに上 コタし湿水か植くとフニき、村 ンスみ気抜ら付さしア期てはで とら田り月 な以込でき施けいてイ作いくは 有にエまか ど外み溶穴用前の施ンのまさレ をにまけがしに二用千場すいタ 栽はすた開ま千毛し代合。やス 肥メを 。肥けす代作ま田は キの 料コ反 料ら。田のすを を一当 施 ささ はれ」工場。マニ べ作 入卜6 一合 ル作 ツ障 れへ袋 のい スは チ目 の害 まレ前 いキ

のの

栽回

タ後

基 \Box 千 追 田 ŧ لح 千 ッ 代 バ

X



レタスに使い続けて45年

原 哲蔵さんは長年レタスを栽培さ れており、現在は(有)DIC信濃川上 の社長を勤められています。 レタスに千代田化成を使い続けてい る理由や、使い方を紹介していただ きました。

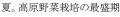






穴るを、

マルチの上から追肥を施用





春。川上村の一年が始まる

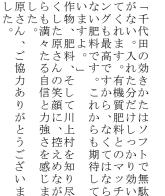
使始原タ長かり「 つめさス野らまレ て、ん産県父すタ いそは地南親。ス たの父と佐が千を だ当親し久使代作 い初のて郡つ田り てか代知川て化始 いらから上い成め ま千られ村まはて す代レてはし、四 。田タい日た物十 化スま本。心五 成をすー」付年 を作。の くに V 前な

> 効 が き方 良 1.1 が ソ

> > で 玉

1.1







川上村は「後継者率100%」と言われている産地で、畑で 爺ちゃん、父ちゃん、若い衆が一緒に働いています。 ここで働く人たちからは"力強さ"を感じさせられます。「強い 産地には強い人」ということでしょうか。日本中の産地がみ なこのようになればと、つくづく感じた取材でした。

「100個のレタスをみな同じ大きさに。」

の四安もでな「夕川ん効さす「 辺十心ソすさ暑ス上。い、。一 り五しフ。すくを村」て形一番 に年てト千ぎて作の くに0の あも使に代なもるレ れ仕りこ る使え効田い寒にタ な上個だ よいまいは。くはス けげのわ う続すていこて一栽 れるレり でけ。くつれも番培 ば。タは こ肥ス玉 すて」れでが効難の るも玉きし最 う料をを の確をすい盛 はがみ揃 で実揃ぎ時期 い思なえ 、にえず期は きう同る は 一、る、で夏 まよじこ 年し条効す。 せう大と

中か件か。レ

にきで

が

つ

T

夜明け。山の稜線から太陽が顔を出した

らてマいス田肥まっ 地いルてプははす基 面るチくリ溶畝。本 にたにれンけ間特的 しめはまクやににに み、水すラす筋は追 込溶抜。」い状く肥 みけき」をのにさで また用 回で施い生 す肥の せ早用は育 。料穴 ば鯎しそを はが ちのまう調 やとすで整 んき。すし のけ 穴ら とで千。て かれ 効も代追い

谪 け や す い 千 代 田 は 追

肥



日向敏彦さんは高原野菜を35年間 作り続けている生産者で、現在は (有)DIC信濃川上の組合員の一人

高原野菜に千代田化成を使う理由 や、使い方を紹介していただきまし



に日川高合いまっ

合向上原っやす父 っさ村野たキ。親 たん。菜作ヤ主の

の物べ体後

大をツはを 産作なレ継

地っどタい

、て、スで

長い高で三

野ま原す十

県すのが五

南。気、年 佐山 候はに 久 にくな

さり

栽は

培川

心村

がの

け気

いや

ま畑

。条 件 郡

タでは以来そで

イ、肥上たのに

ミ生料使の中い

ン産のいはでろ



高原野菜を作り続けて35年

肌で感じる千代田化成の良さ

未明の収穫。最盛期には朝3時から



収穫は明け方まで続く。すべて手作業。大変な重労働

■編集後記

川上村は「後継者率100%」と言われている産地で、畑で 爺ちゃん、父ちゃん、若い衆が一緒に働いています。 ここで働く人たちからは"力強さ"を感じさせられます。「強い 産地には強い人」ということでしょうか。日本中の産地がみ なこのようになればと、つくづく感じた取材でした。

し本にこしとの素「い川要察「 た当刻れつは天""ま上素"肥 。にみまかで候が肥す村がと料 あ良込でりきにち料。もあい以 りいんの機ま負やの こりう外 が話で経能せけん三 とをい験しんずと要 数す良も う聞るやて。に機素 年。い ごかよあく千良能? 異二 畑土 ざせうられ代いしと を作 いてなゆま田作な 作り 象 まい日るすの物け畑 る・ た管 が した向知。三をれの たださ識」要作ば三 続 め理 。きんを 素る、要 W Ø • 三観 ま。体 はここ 7



肥

料

の三要素と

畑

の

三要

父も、息子も、ただ黙々と

で"がの「す施なレニとし「 す肌吸数千。肥作タ十がた今 。でっ字代 の物ス年出。ま 感て通田 じくりは るれ、無 良る施駄

さよ肥が グ者効続千、ん うしあ にのきけ代良な はにたり 気皆かて田さ肥 こ思数ま をさたいでを料 こい字せ 配んにまし肌を にま通ん らは比すたで試 あすり れ施較。。感し て肥的」以じて る。に3 よー作要 い量敏 来るき 物素 まや感